

観光・福祉・農業分野との連携による既存AIオンデマンド交通の利用促進・高付加価値化



「交通」×「観光」「福祉」「農業」（長崎県雲仙市）

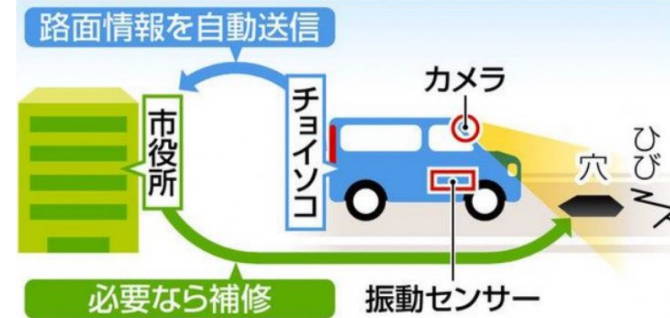
事業実施主体

【共創プラットフォーム】 地域をつなぐ「チョイソコうんぜん」共創プロジェクト
実証実験協議会

【事業主体】 雲仙市

【共創パートナー】 長崎トヨペット（車両販売・MaaS事業）

＜事業スキーム＞



地域課題

- ・市全体が過疎地域で公共交通網が脆弱
- ・大規模な中心市街地がなく、観光産業へのコロナ影響が顕著な状況

実証事業の内容

- ・既に運行しているAIオンデマンド交通（チョイソコうんぜん）の高付加価値化や利用促進を図るため、センサーを付けた**チョイソコ車両による道路監視**や地元生産者とチョイソコスポンサーであるスーパー等をマッチングさせた**野菜の販売促進**、チョイソコ降車後の移動手段としての**電動車いす貸出**等の事業を展開する。
- ・AIオンデマンド交通（チョイソコうんぜん）の運行管理システムを取り入れ、公共交通が利用できない**夜間の観光地の移動サービス**を実施。
- ・「チョイソコうんぜん」では、スポンサー制度（スポンサー敷地内に停留所を設置可）を導入しており、多くのスポンサーを獲得（47社：R5.2月末現在）し、ファイナンスを確保しているが、「チョイソコうんぜん」の高付加価値化や利用促進により、更なるスポンサー増加及び利用促進を図る。



チョイソコ+電動車いす=
公園散策や買い物にお出かけ



今後の展開

- ・安定的な事業継続に向けた、利用促進対策や更なる協賛企業やスポンサーの獲得。



地域のイベントにチョイソコでお出かけ